

小学校教科用図書調査研究資料

社 会

東 京 書 籍
教 育 出 版
日 本 文 教 出 版

令和5年度

中高・飯水地区小学校教科用図書採択研究協議会

種目（社会）

| 採択基準 発行者名 | 東京書籍（新しい社会） |
|--|---|
| 1 教科の目標からの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・長野県内の事例が多く掲載されており、児童の暮らしの中で比較的身近に社会的事象を捉えやすくなっている。 ・生活に身近な諸課題を取り上げ、主体的に問題解決しようとする態度や、実社会に参画しようとする態度を育めるようになっている。 ・様々な立場の人の思いに触れて、社会的事象を理解できるようになっており、課題把握、課題追究、課題解決の過程が明確である。 |
| 2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 情報収集の仕方や発信・表現の仕方等、児童の発達段階に合わせた学び方が「まなび方コーナーで」例示されている。 (2) 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の進め方が明示されている。「まとめる」では、学習問題に対する振り返りが書けるようになっており、重要語句を用いながら、児童が自分の言葉で学習のまとめが書けるよう配慮されている。 (3) 4種類のマークを用いて、社会的な見方・考え方が提示されており、多角的に考えを深められるよう配慮されている。また、「まなびのポイント」に、話し合い活動が多く示され、対話的な協働学習の場が担保されている。 (4) 調査・見学の場面では「調べること」「調べ方」「まとめ方」が示され、社会的な見方・考え方を働かせることができるよう配慮されている。ICTを活用した表現活動の場も設けられている。 (5) 全体的に明るい配色で、図表や写真が多いため、児童が見やすく、使いやすいように配慮されている。 |
| 3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 | <ol style="list-style-type: none"> (1) 5・6年生は2冊の教科書に分けられており、特に6年生では、歴史と公民を2冊に分けることで、歴史の学習を分断せず、分野ごとに整理された単元展開ができるようになっている。 (2) 児童の疑問から単元を貫く学習問題や本時のめあてが提示され、自然に、連続的に追究していける展開になっている。 (3) キャラクターやマークを用い、社会的な見方・考え方を児童に分かりやすい形で提示しており、社会的事象の特色や関連、意味を多角的に考察するための配慮がなされている。 (4) SDGs等、実社会で話題になっている諸課題について取り上げている。感染症やメディアリテラシー等について、配慮した記載もある。 (5) いくつかの絵や写真を並べて提示することで、児童の疑問が自然に生まれるような工夫がなされている。6学年の歴史では、短い年表がこまめに提示されることで、今学習している出来事の前後で何があったかが捉えやすく構成されている。 (6) 多様なまとめ方で、表現力を育むための工夫がなされている。まとめるときのポイントや重要語句も示されている。 |
| 4 全体的な特色 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の疑問に始まり、問題解決的な学習展開になるよう工夫されている。知識の定着に限らず、学んだことを活かしたり、発信したりしていく力が育まれるようになっている。 ・社会的な見方・考え方や学習の方法、まとめ方等が、児童に分かりやすい形で示され、学習意欲を喚起するものとなっている。 |

種目（社会）

| <p style="text-align: right;">発行者名</p> <p>採択基準</p> | <p style="text-align: center;">教育出版（小学社会）</p> |
|---|---|
| <p>1 教科の目標からの配慮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 追究の帰着の場面で、思考ツールや表などを使って整理する活動を位置付けることで、学習内容の習得と定着が図られるように配慮されている。 ・ 選択・判断・表現する場面の活動が例示され、学習した事象を根拠にしながらか、考えたり、表現したりできるよう配慮されている。 ・ 身近な社会的事象を取り上げ、問いから展開していく流れを重視することで、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 |
| <p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 身近な社会的事象を取り上げるとともに、「学びのてびき」などで発達段階に応じた調査・表現活動が具体的に示されている。 (2) 身近な社会的事象から学習問題をつくり、調査活動で分かったことをまとめ、学んだことを社会生活につなげて生かす流れが一貫しており、連続的な追究ができるように工夫されている。 (3) 実際に働いている方の思いや願いが分かる話を多く提示することで、児童が課題をもって対話的に学習を進めることができるよう工夫されている。 (4) 調べ方やまとめ方の例示や、吹き出しに「社会的な見方・考え方」の視点や方法のヒントがあり、調査・表現活動がしやすいよう配慮されている。 (5) ICTの活用例と、学習に活用できる動画やワークシート、クイズなどのデジタルコンテンツが紹介されており、ICTを活用した学習がしやすくなっている。 |
| <p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習指導要領の内容に即した事例を、身近な事象から段階を踏んで広がるよう単元が配列され、各単元がつながるように工夫されている。 (2) 学習問題をつくり、学習の計画をたてる活動が丁寧に例示されており、連続的な追究を促す単元構成がなされている。 (3) 児童同士、また、社会の様々な人から話を聞き取る対話的な活動が単元展開の中に位置付けられており、多角的な思考が促されるよう配慮されている。 (4) 単元の学習をSDGsの視点でふりかえるページが用意されており、社会に主体的に参画しようとする態度の育成がなされるよう配慮されている。 (5) ICTの活用例と、学習に活用できる動画やワークシート、クイズなどのデジタルコンテンツが紹介されており、個々の学びに対してもICTを活用しやすくなっている。 (6) 単元の終末に、思考ツールや表などを使って整理する活動が位置付けられており、観点を明確にしてまとめの活動ができるよう工夫されている。 |
| <p>4 全体的な特色</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 問いをつなげていく学び方ができるよう構成されており、主体的に社会参画しようとする力が育成されるよう配慮されている。 ・ デジタルコンテンツやICTの活用例が充実しており、児童の関心や意欲を高めることができるよう工夫されている。 |

種目（社会）

| <p style="text-align: right;">発行者名</p> <p>採択基準</p> | <p style="text-align: center;">日本文教出版（小学社会）</p> |
|---|---|
| <p>1 教科の目標からの配慮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・調査活動を通して情報を適切に調べる方法や調べたことのまとめ方を示すことで技能を身につけられるよう配慮されている。 ・時間・空間・関係の3つの視点を提示したり、社会的事象にかかわる複数の立場の人の言葉を掲載したりすることで、多面的に思考・判断をする方法が示されている。 ・身近な社会的事象から始まり、日本や世界で見られる諸課題を児童が主体的に考えることのできるような単元構成となっている。 |
| <p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 発達段階に応じた児童の生活・学習体験をもとに学習問題を追究できるよう内容の選定や単元の配列がされている。 (2) 社会科における知識にあたる部分の記述に色を付け、それに対する子どもの問いや気づきのモデルを併記することで、学びが深まるよう紙面が工夫されている。 (3) さし絵、グラフ等の資料を多数掲載し、子どもの問いや気づきのモデルを示すことで、資料を見る観点を示し、視覚的に学びを深めるための工夫がされている。 (4) 「学び方・調べ方コーナー」で、資料の調べ方・読み取り方・まとめ方を例示することで、発達段階に応じた技能を系統的に身につけることができるよう配慮されている。 (5) 資料と本文の割付を統一するとともに、重要語句の字体を変えるなどの見やすい配慮がされている。 |
| <p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div> | <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童が実際に問いを持ちやすい題材を単元の最初に示し、問題解決の学習の中で、基礎的な知識及び技能が定着していく学習を進められるように配慮されている。 (2) 全ての単元において、問題発見、追究・解決という学習の道筋が示されており、児童が身につけた知識・技能を活用していくような学習が展開できるよう配慮されている。 (3) 単元の終末に、学んだことと関わったSDGsの内容が提示されたり、紙面上にSDGsに関わるコラムが多数掲載されたりと持続可能な社会に向けての課題を自分事として捉え、社会をつくる一員としての態度を養うよう工夫されている。 (4) 「やってみよう」で思考ツールを示すことで、社会的事象に対する考え方が示され、社会的な見方・考え方を働かせながら学ぶための配慮がされている。 (5) 多数の資料を同一ページに掲載したり、二次元コードで補足資料を示したりすることで、多くの情報に触れながら、それらを比較・関連付けをして学びを深めることができるよう工夫されている。また、ICT活用の配慮がされている。 |
| <p>4 全体的な特色</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容と関連したSDGsの内容が紹介され、社会を構成する一員としての態度を養うよう工夫されている。 ・「学び方を学ぶ」という視点が重視され、児童が自ら問題解決の学習を進める力を身につけられる構成となっている。 |